



議会広報特別委員会副委員長として☆「高島市議会だより」会議を重ね、研修の成果を詰め込んで一新しました！ぜひ手に取ってご覧ください☆さらに読みやすく前進します。

里山文化プロジェクト
新のある暮らしと里山の保全を考えるシンポジウム

12月14日 14:00-17:00

「薪が生まれ出す里山保全のチカラ」

熊谷もも氏

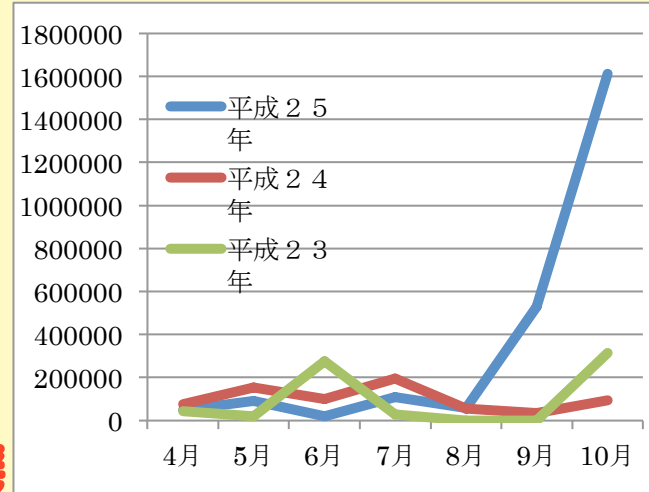


平成25年12月14日福井県おい町里山文化交流センターで「薪のある暮らしと里山の保全を考えるシンポジウム」パネリスト出演！

薪ストーブの設置にいくらかかるのか？薪はどのように調達しているのか？薪ストーブとこどもたちの育ちとは？など質問に楽しく答えました。

奥敬一先生の、長岡京市における小学校の図書室に薪ストーブを設置し、里山を保全する活動の事例は高島市にもぜひ導入したい素晴らしい取り組みです。高島市の豊かな資源のひとつに薪があります。今、全国で薪の活用が注目されています。

名田庄は朽木のように村ブランドが残る風情ある所だと感じました。また、名田庄には暦会館という、安倍晴明につながる暦の資料館があります。グレゴリオ暦とは異なり、旧暦は太陰太陽暦で、月の満ち欠けに沿い、毎月1日は新月で始まります。今年の旧暦のお正月は、1月31日です。もう一つの元日ですね☆



高島市 ふるさと応援 寄付が大幅 UP!!

6月議会で「ふるさと納税ポータルサイト※に特典の高島市の特産品の写真をアップすること」を提案しました。そして

8月 5件 60,000円→
10月 94件 1,619,734円 となりました。

94人がわくわくしながら高島市の特産品を選んで頂いたということは、高島市を、特産品の素晴らしさを、知ってもらうチャンスです。高島市ってええなあ！いっぺん行ってみようか〜と親しみを感じて、高島市を観光して頂くきっかけに、そして高島市内経済の元気につながることを願います。

できないことの理由に「財政が厳しい」とよく言われますが、その前に収入を増やす努力をすべきですし、私はなるべくゼロ予算に近い形ですぐにできることを提案したいです。もともとある写真をアップすることだけで94件全国から寄付が集まりました。単に収入を増やすためだけでなく、「ふるさと納税」を利用して特産品のPR、高島ブランド認知度の向上そして市内経済活性化が目的です。

高島市には素晴らしい宝や魅力がまだまだいっぱいあります。地元の誇り、その宝をもっと輝かせたい！知ってもらいたい！と思います。

※ふるさと納税ポータルサイト：日本全国の「ふるさと納税」の情報がまとまったHP